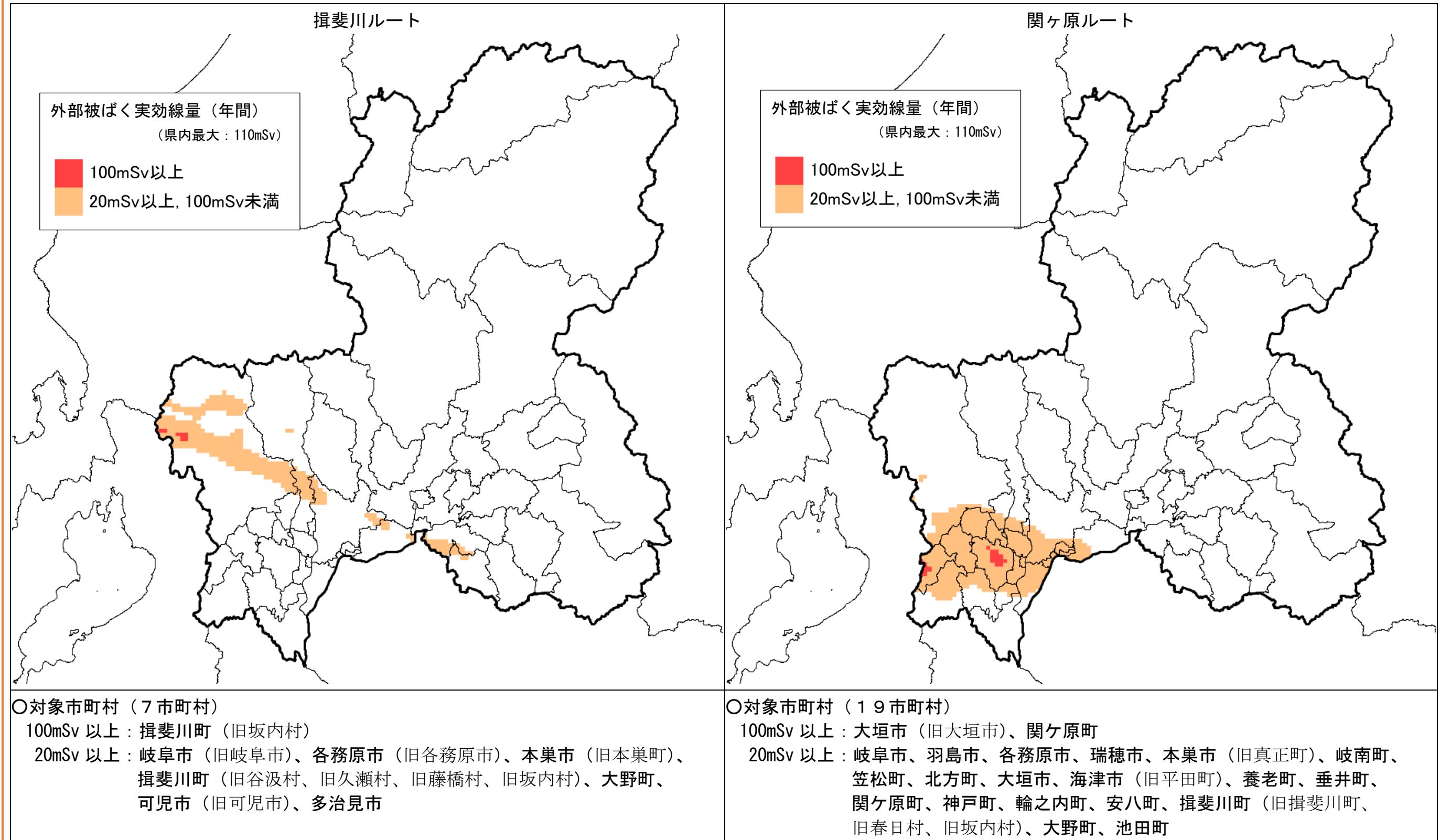


原子力災害に係る避難方法シミュレーション

シミュレーションの前提となる被害想定

岐阜県が平成 24 年 9 月に公表した「放射性物質拡散シミュレーション」のうち、特に規模が大きかった以下の 2 ケースを想定する。



【参考】原子力災害対策指針（原子力規制委員会）に定められる一時移転の基準（OIL2）

- ・地表面からの放射線、再浮遊した放射性物質の吸入、不注意な経口摂取による被ばく影響を防止するため、住民等を1週間程度内に一時移転させるための基準
- ・基準値：地上1mで計測した場合の空間放射線量が1時間あたり $20\mu\text{Sv}$ → 外部被ばく実効線量（年間） 20mSv に相当